



笑顔輝く新居浜人を紹介

都大路で優勝 つないだタスキ

vol.85

倉敷高校3年(岡山)

田坂愛翔さん(泉川中出身)



広告欄

昨年12月25日に京都市で開催された男子第73回全国高等学校駅伝競走大会で、4年ぶりの優勝を果たし、大会新記録を樹立した倉敷高校。5区を任せられ、日本一に貢献したのは、泉川中出身の田坂愛翔さんでした。

田坂さんはサッカー部だっ

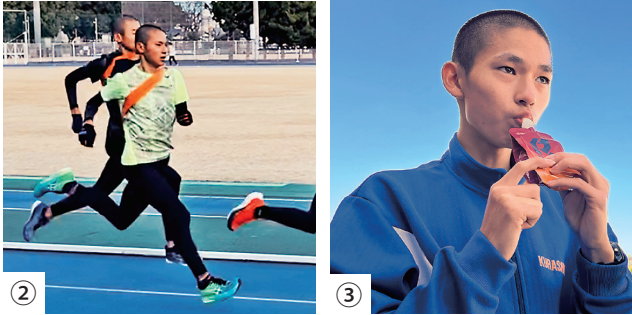
た中学1年生の時、先輩から誘われたことがきっかけで駅伝の道へ。中学時代は全国大会に出場するも、レースで走るメンバーに選ばれず、悔しい思いをしました。高校は「駅伝が強いところで挑戦したい」と、倉敷高校に進学。同校は今大会で45年

連続出場を果たした全国屈指の強豪校です。自分の力を試すにはうってつけの環境でした。

練習に打ち込む中、2年の時にはけがで思うように走れない日々が続きました。そしてようやくつかんだチャンス。苦しい思いをした分、全国舞台に懸ける思いは人一倍でした。

迎えた大会当日、首位でタスキを受け取った田坂さん。これまで支えてくれた皆さんへの感謝の思いを力に変え、後続にタイムを縮められることなくタスキをつなぎました。

全国舞台では役割を果たすものの、自身の走りには力不足を痛感。「今後は、大学に行ってまだ足りていない力を鍛えたい。箱根駅伝で地域の人に勇気と感動を与えられる走りができたらいいな」



①仲間たちと写る田坂さん(右から2人目) ②走り込み
③エネルギーをチャージ(写真提供:倉敷高校)